

4本柱

「自転車まちづくりプラン“さいたまはーと”」では「たのしむ」「まもる」「はしる」「とめる」の4つの柱からなるさまざまな取り組みを推進しています。

たのしむ

自転車で健康に！心も体もリフレッシュ

「自転車のまち」の魅力発信
自転車を活用して余暇を充実させる取り組み



サイクリングの楽しみ方が広がる「レクリエーションルート」の環境整備を進めています。



市民や来訪者の自転車利用を促すため、コミュニティサイクルを推進しています。

読者モニターさんの意見は？

- 😊 風を受けて走る爽快な感覚は、他の乗り物では味わえない！
- 😞 走るのに適したコースが分からないので、もっと情報が欲しい。

まもる

悲しい事故をゼロに……

「自転車の安全な利用」の推進
自転車の正しい利用の仕方を身に付けてもらう取り組み



交通ルールの遵守と交通マナーの向上を図るため、交通安全教室を実施しています。



小学生の安全に対する意識を高める「子ども自転車運転免許制度」を実施しています。

読者モニターさんの意見は？

- 😊 普段から自転車を使うので、速度の出し過ぎには注意している。
- 😞 交通マナーを守れていない人がいるので、まだまだ改善が必要。

はしる

自転車って便利！

「快適な自転車ライフ」の実現
自転車通行環境や快適な利用を推進するための取り組み



自転車レーンの整備やピクトグラムの設置など、通行環境の充実・改善を図っています。



子育て世代への電動アシスト付3人乗り自転車の貸し出しを行っています。

読者モニターさんの意見は？

- 😊 専用レーンがあると、自転車だけでなく歩行者にとっても安心。
- 😞 快適に走行できる専用レーンを、もっと増やして欲しい。

とめる

モラルを持って！

「適正な駐輪」の推進
自転車駐輪環境を充実させる取り組み



利便性向上のため、民営事業者による駐輪場整備への支援を行っています。



商業施設などの整備に併せ、自転車での来場を想定した駐輪場の整備を推進しています。

読者モニターさんの意見は？

- 😊 自動車と比べ、とめる場所が比較的に見つけやすいので便利！
- 😞 もう少し駐輪しやすい環境が整備されると嬉しい。

“人と環境に優しい 安全で元気な自転車のまち さいたま”を目指して！

「さいたまはーと」のさまざまな取り組みにより、平成37年度までに「自転車利用者(週1回以上)の割合を現状※1の65%から80%以上へ増加」「自転車事故の死者数(人/年)を現状※2の1,677人から1,000人未満に減少」などの目標を達成することで、“人と環境に優しい 安全で元気な自転車のまち さいたま”の実現を目指しています。

※1:平成26年度市民アンケート結果 ※2:平成26年度実績(埼玉県警提供)



「さいたまはーと」のロゴマークは、自転車のシルエットに「さいたま」の4文字をあしらい、「自転車のまち さいたま」を象徴するデザインになっています。

数字で見る・知る

さいたま自転車まちづくりプラン “さいたまはーと”

自転車を利用しやすい環境が整っているさいたま市の特徴を活かし、さらなる自転車利用の促進や歩行者の安全性の確保を図ることを目的に策定された

「自転車まちづくりプラン“さいたまはーと”」。その概要を、カギとなる数字とともに紹介します。

Goood! **全国1位!**
83.5%

さいたま市は、主な大都市の中で1位となる83.5%と**自転車保有率が非常に高い**まち。また、**地形が平坦**で利用しやすく、駅までの通勤・通学や買い物など、**日常的に自転車**が利用されているほか、自転車での散策に適した景観豊かな場所が多数あり、自転車関連のイベントも盛んに行われているなど、自転車を活かせる**地域資源も豊かな**、まさに「**自転車のまち**」なのです。

主な大都市の自転車保有状況

世帯での自転車保有率	自転車保有率
さいたま市	83.5%
京都市	82.9%
大阪市	82.0%
名古屋市	74.5%
福岡市	72.3%
千葉市	71.3%
札幌市	69.8%
広島市	69.7%
川崎市	68.2%
東京区部	65.8%
仙台市	63.6%
神戸市	60.2%
横浜市	55.3%
北九州市	52.7%

平坦性と自転車利用の関係(政令市)



【資料】平成24年度自転車保有実態に関する調査報告書(一般財団法人自転車産業振興協会)

【資料】※1:平成22年度国勢調査(15歳以上の通勤・通学時の交通手段) ※2:平成23年度国土数値情報(傾斜3°未満の面積割合)

BAD! **一方で課題も…**
35.7%

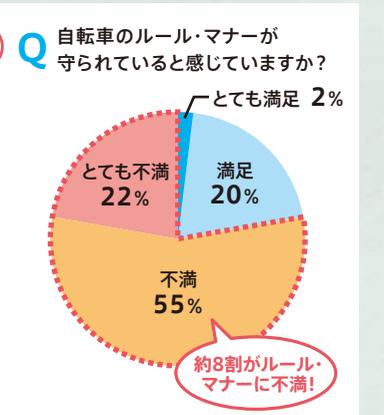
一方で、全交通事故中の自転車関連事故の割合が政令市の中で2位となっているなど、**自転車事故の多さ**が課題となっています。また、市民アンケートによると、8割近い人が**自転車利用者のルールやマナー**に不満を感じているという課題も存在しており、**安全かつ快適に利用する環境を実現**するための取り組みが必要です。

全交通事故中の自転車関連事故の割合(政令市)

大阪市	39.6%
さいたま市	35.7%
相模原市	32.8%
堺市	29.7%
川崎市	29.4%
千葉市	27.6%
名古屋市	26.0%
福岡市	24.5%
京都市	23.2%
広島市	22.8%

【資料】平成24年イタルデータ

自転車利用環境の満足度(さいたま市)



【資料】市民アンケート(平成26年11月実施)